

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項	知的財産戦略推進費										予算主管課		総合政策課	
事 業 概 要	県知的財産戦略を円滑に推進するため、県試験研究機関における知的財産権の積極的取得を促進するとともに、県民に対し啓発を実施する。										始期		H19	
											終期		-	
K P I	特許権の出願に係る県内発明者数の対人口比													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	R3年		時点・期間	R5年	時点・期間	R6年	時点・期間	R7年	時点・期間	R8年			
	現状値	0.31 %		目標値	0.32 %	目標値	0.33 %	目標値	0.34 %	目標値	0.36 %			
				実績値	0.33 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%			
				達成率	103.13 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%			
コ ス ト			最終現計予算額	865 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円				
			決算額	305 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円				

5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 令和5年の目標値を達成しており、令和5年からは若年層の知的財産セミナーの対象を高校生から小・中学生に拡大して実施するなど、啓発活動の強化が発明者数の増加につながっているものと考えられる。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和5年の目標値を達成しており、令和5年からは若年層の知的財産セミナーの対象を拡大したところであることから、令和6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。												

2

当初

事 項	科学技術振興事業費										予算主管課		総合政策課	
事 業 概 要	県科学技術振興指針の策定を受け、科学技術行政を総合的に推進するために設置した科学技術振興会議を運営し、本県における科学技術振興への総合的、多面的な取組みを進める。										始期		H13	
											終期		-	
K P I	科学技術振興会議評価専門部会における研究課題事前評価の件数													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度			
	現状値	20 件		目標値	21 件	目標値	22 件	目標値	23 件	目標値	24 件			
				実績値	12 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件			
				達成率	57.14 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%			
コ ス ト			最終現計予算額	1,444 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円				
			決算額	654 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円				

5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 本事務事業のKPIについては、各試験研究機関における研究予算や研究課題の多寡にも依存するものであり、限られた予算の中で、各試験研究機関が当該年度の研究課題の選定を行った結果として、事前評価に諮る研究課題が前年度と比して減少したことから未達となった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 本県における科学技術の振興に向けて、その進捗管理を行うとともに、県民・産業界のニーズの的確な把握、県民への説明責任の確保、評価結果の反映による高度な試験研究の推進を図るため、外部有識者による試験研究課題の外部評価を継続する必要があることから、令和6年度以降も本事務事業を維持する。なお、本事務事業は科学技術振興会議や外部評価制度を適切に運営するものであり、KPIに設定している事前評価件数に対応できる体制は確保できていることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。												